

第61回横浜市地域まちづくり推進委員会会議録	
日 時	令和 7 年 5 月 27 日（火）13 時 00 分から 14 時 00 分まで
開催場所	市庁舎 18 階会議室みなと 4・5
出席者	【委 員】片岡委員 (WEB)、川原委員、高村委員、名和田委員、宮谷委員、三輪委員 (WEB) 【臨時幹事】なし 【事務局】古檜山部長、光田課長、中尾担当課長、大嶽担当係長
欠席者	内海委員、佐藤委員
開催形態	公開（傍聴 0 名）
議 事	(1) 委員長及び副委員長の選出 (2) 部会の委員の選出
報 告	(1) ヨコハマ市民まち普請事業令和 6 年度整備施設について
決定事項	横浜市地域まちづくり推進委員会委員長および副委員長 ヨコハマ市民まち普請事業指名委員および表彰部会指名委員
【議事 1】委員長及び副委員長の選出（資料 1） (事務局) 横浜市地域まちづくり推進条例施行規則第 21 条第 2 項に基づき、委員長及び副委員長は委員の互選により選出することとなっています。まずは委員長として推薦者がいれば意見ををお願いします。 (三輪委員) これまでの横浜の地域まちづくりに明るい名和田委員を前期に引き続き推薦します。 (全委員) 異議なし。 (事務局) それでは名和田委員を第 11 期横浜市地域まちづくり推進委員会委員長として選任します。 続いて職務代理者として副委員長の互選をお願いします。 (名和田委員長) 三輪委員を推薦します。 (全委員) 異議なし。 (事務局) それでは三輪委員を第 11 期横浜市地域まちづくり推進委員会副委員長として選任します。 【議事 2】部会の委員の選出（資料 2） (事務局) 横浜市地域まちづくり推進委員会には必要に応じて部会を設置することができ、ヨコハマ市民まち普請事業部会、表彰部会の二つの部会を設置しています。各部会は、横浜市地域まちづくり推進条例施行規則第 23 条第 2 項に基づき、地域まちづくり推進委員会の委員長が指名する指名委員と、市長が任命する専門委員で組織されることとなります。専門委員については、既に市長より任命していますので、横浜市地域まちづくり推進条例推進委員会の委員から指名委員として、ヨコハマ市民まち普請事業部会には 1 名、表彰部会には 2 名の指名をお願いします。 (名和田委員長) ヨコハマ市民まち普請事業部会には川原委員を指名します。表彰部会には片岡委員および高村委員を指名します。 【報告 1】ヨコハマ市民まち普請事業令和 6 年度整備施設について (事務局) 令和 6 年度に整備された「パリ横テラス」「リトルファームHOMMOKUもくり」について事務局より説明。 (名和田委員長) 「パリ横テラス」はえだきんパークとは異なる場所でしょうか。また本牧山頂公園にもまち普請で以前整備をされましたが「リトルファームHOMMOKUもくり」の場所はその近くでしょうか。 (事務局) 「パリ横テラス」はえだきんパークの場所とは少し異なり、商店街のパン屋の横に整備をしています。	

また、「リトルファームHOMMOKUもくり」はまち普請で本牧山頂公園に整備された施設の近くになります
が、総合公園の麓の位置にあります。

(高村委員)

まち普請のコンテストを拝見していて、まち普請は関係人口がとても多いと感じています。表彰部会で
推進している「横浜・人・まち・デザイン賞」でもまち普請で関係していただいた方々をぜひ表彰したい
と思っています。

(宮谷委員)

2施設とも既存施設をリニューアルし、新しい機能を付加する事例だと思います。まち普請事業が始ま
った当初は何もないところに施設を整備する案件が多かった印象でしたが、傾向として活動の特色や組織
の育ち方、広がり方について変化が起きているのでしょうか。

(事務局)

最近の提案では空家の改修といった既存の物をリニューアルする提案が多く、拠点を整備する提案や、
特に昨年度はシェアキッチンを整備する提案が多くありました。昨今、提案の傾向も変わってきているよ
うに思います。

(宮谷委員)

空家を改修して事業を生み出す提案は以前からあったと思いますが、すでに人が集まって活動をされて
いる拠点をバージョンアップするような、一歩先の提案が多くなっていると思いました。地域の市民活動
や商店との繋がりといったソフトウェアの使い方が上手く、ハードだけでなくソフトの部分でも既存のも
のを上手く使った提案が増えてきており、とても良いことだと感じました。

(川原委員)

最近の印象として、コミュニティ拠点型の提案が多く、屋外型の提案が少なくなってきたのは、別部署
での助成制度が増えたことも要因の一つだと思います。また、既存の活動をベースにした提案も確かに多
く、全体のレベルも非常に上がってきています。既存の活動がベースにあり、そこから新しい活動を広げ
るような提案が勝ち上がってきているような印象です。

(名和田委員長)

傾向が変わりつつあり、そこには様々な要因があると思いますので、委員としても事務局としても、そ
の傾向を適切に把握し、地域まちづくりの在り方を引き続き検討していく必要があると思います。

以上